

まちづくり共創構築事業

「実現したい未来の軽井沢町」に関するアンケート結果

1. アンケート内容

【設問項目】

① 軽井沢町の魅力

あなたが感じる軽井沢町の良さ、特別なところ、他の人に自慢したくなる軽井沢らしさ、暮らしの中で「軽井沢町でよかった」と思う瞬間、などをご記入ください。

② 軽井沢町の課題

日常生活で不便に感じること、「もっとこうなったらいいのに」と思うこと、将来に向けて心配していること、などをご記入ください。

③ ○○にとっての叶えたい軽井沢町

【誰にとって※】どんな軽井沢になつたら嬉しい、その時にどんな風に過ごしている、などをご記入ください。

④ 第1回対話の場では以下のような叶えたい未来の軽井沢町のアイデアが出ました。共感するアイデアを選択してください。(いくつでも)

- 自然や環境を大切にするまち
- 安心して暮らせるまち
- 文化や歴史を受けつぎ、新しい文化を生み出すまち
- 観光と生活が調和するまち
- 未来をつくる人とつながりを育むまち
- 上記にはない

⑤ 上記のような軽井沢町を実現するためには、どのような仕組みや仕掛けが必要でしょうか。

2. アンケート結果の概要

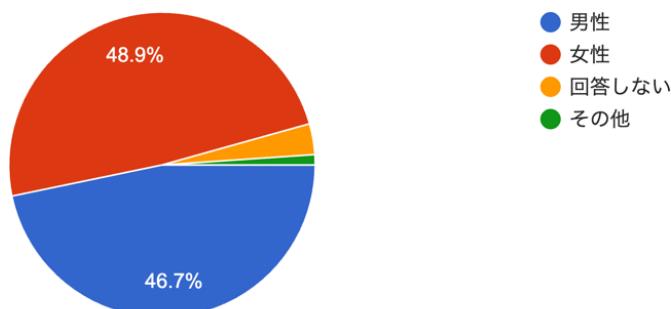
- ・回答数 92 件

回答者のプロフィール

性別

92 件の回答

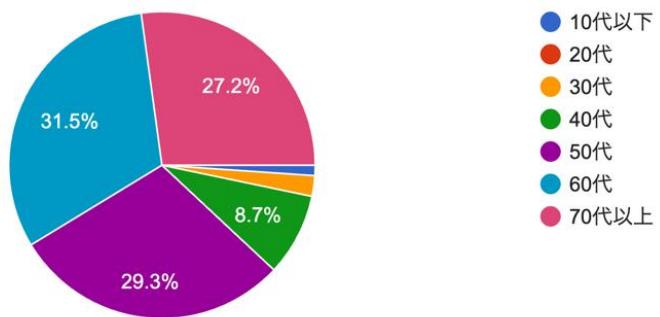
男性 43 件(46.7%)
女性 45 件(48.9%)
回答しない 3 件(3.3%)
その他 1 件(1.1%)



年代

92 件の回答

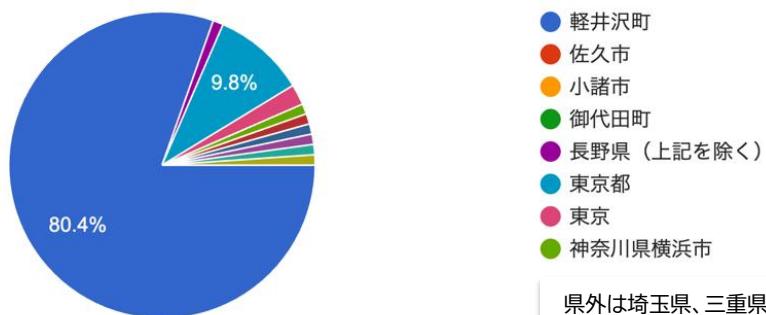
10代以下 1件(1.1%)
20代 0件(0%)
30代 2件(2.2%)
40代 8件(8.7%)
50代 27件(29.3%)
60代 29件(31.5%)
70代以上 25件(27.2%)



お住まい

92 件の回答

軽井沢町 74 件(80.4%)
佐久市 0 件(0%)
小諸市 0 件(0%)
御代田町 0 件(0%)
長野県(上記除く) 1 件(1.1%)
東京都 9 件(9.8%)
東京 4 件(4.3%)
神奈川県横浜市 1 件(1.1%)
その他(県外) 3 件(3.3%)

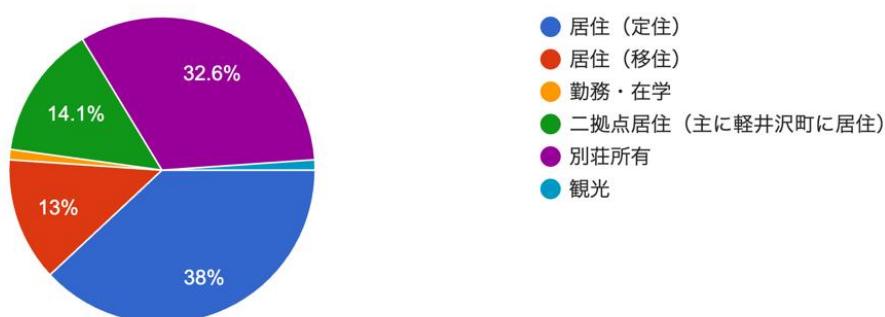


県外は埼玉県、三重県、大阪府

軽井沢町との関わり 一番近しい内容を選択してください

92 件の回答

居住(定住) 35 件(38%)
居住(移住) 12 件(13%)
勤務・在学 1 件(1.1%)
二拠点居住(主に軽井沢町)
13 件(14.2%)
別荘所有 30 件(32.6%)
観光 1 件(1.1%)



設問① 軽井沢町の魅力について

○回答の抜粋

- ・豊かな自然環境、首都圏からのアクセスのよさ、過ごしやすい気候、食の豊かさ(食材・飲食店など)。
- ・明治時代からの宣教師や欧米人によって育まれた歴史・文化と先人たちが築いた美しい縁あふれる自然環境。
- ・新緑や紅葉の美しさ、山へのアクセス、夏の涼しさ、緑が身近な生活環境。
- ・自然と別荘の調和。野菜が美味しい。
- ・豊かな自然と、それを壊さない範囲で田舎にはないおしゃれで美味しいお店があるところ。
- ・森の木の香りと里山のような自然との共生。
- ・ゆったりとした時間、騒音の少なさ、自然環境。
- ・自然の美しさ、芽吹きの春、涼しい夏、紅葉の秋、静かな冬、四季を楽しむことができる。
- ・静寂な自然、文化的な歴史、清楚な暮らし。
- ・空気が気持ちいい、景色が美しい、夜が暗くて静かで落ち着く。季節の変化を感じられる。
- ・あらゆる「中間」であるところ。都市でも地域でもない、遠すぎず近すぎず、文化も先進性もある。
- ・豊かな自然環境と洗練された街並みのバランス。移住者を受け入れてくれる地元民。

設問② 軽井沢町の課題について

○回答の抜粋

- ・開発業者による自然環境破壊、休日の渋滞。
- ・公共交通機関が非力。町内循環バスは夜もやってほしい。
- ・山荘周辺の昆虫・小鳥の減少など、生態系の変化が気になる。
- ・旧軽井沢以外の地域も、歩いて癒される自然を感じられる町であって欲しい。
- ・路線バスの本数不足、歩行者の安全環境の不足、道路補修の遅れなど日常生活に関わる不便。
- ・環境破壊、民泊問題、公害。
- ・ホテルやマンション等増え続けていること。一年中騒がしく感じる。
- ・公共交通の便の少なさ、複雑でわかりにくい。駐車場増加による景観破壊。
- ・家の建ちすぎでどんどん木が伐採されており、森が小さくなっている。
- ・樹木伐採による建築物の増加、ホテルの過度な進出。
- ・オーバーツーリズム、医療体制の脆弱性。

設問③ ○○にとっての叶えたい軽井沢町について

○回答の抜粋

- ・自然と歴史のいいところを守ってほしい。
- ・移住者、地元出身者、別荘民、観光客が壁を少なくして調和している軽井沢。
- ・気楽に交流できる場がある町。多くの人が気軽に楽しめる場が増えること。
- ・住民にとって暮らしやすい町になって欲しいです。
- ・子や孫にとって生活しやすい町であってほしい（物価、騒音などの面で）。
- ・共働きの子育て世代が、のびのびと楽しく子どもに関わることができる環境。
- ・来る人、住む人、働く人が快適に過ごせる街。
- ・本質的な自然環境を守りながらの適度な利便性を意識したまちづくり。
- ・全ての世代に過ごしやすいこと。
- ・これからの中でもたちに豊かな自然を残し、安全で地域住民との対話のある街であってほしい。
- ・動植物にとって、かけがえのない環境の軽井沢の自然を大切にし保全してほしい。
- ・住んでいる人にも、観光で来ている人にも嬉しい豊富な自然。

設問④ 第1回対話の場では、以下のような叶えたい未来の軽井沢町のアイデアが
出ました。共感するアイデアを選択してください。（いくつでも）

○回答状況

1. 自然や環境を大切にするまち

浅間山や森、水などの自然を守りながら、環境にやさしい観光と自然と調和
調和させたまちを目指します。

自然と共生するまち、浅間山のような高い視座、広い視野

2. 観光と生活が調和するまち

観光でにぎわう一方、町に住む人の暮らしも大切に、し混雑や住宅の問題を解決
しながら、観光と生活が両立できる豊かなまちを目指します。

観光と生活の両立、循環型経済と持続可能な暮らし

3. 安心して暮らせるまち

医療や子育てのサポート、防災の力を強め誰もが安心して暮らせるまち、年齢や
立場をこえて、支え合えるまちを目指します。

高齢者に優しいまちづくり、子育て支援や医療・福祉の充実

4. 文化や歴史を受けついで、新しい文化を生み出すまち

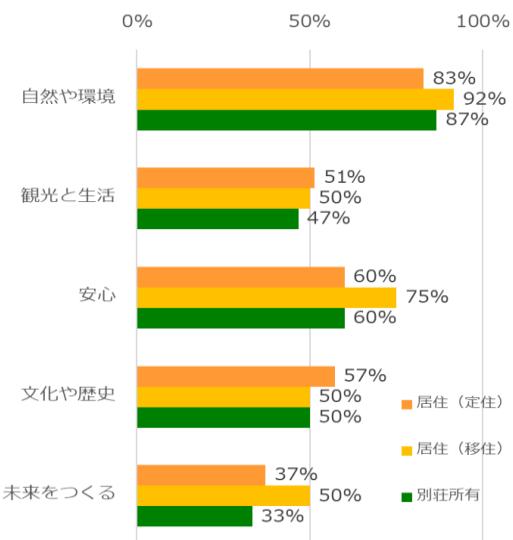
昔からの民話や歴史を大切にしつつ、若者や移住者も参加できる文化活動を
増やし、国際交流やデジタルも活用した新しい文化を育てることを目指します。

文化と民話の継承と創造、誇れる軽井沢

5. 未来をつくる人とつながりを育むまち

若者や子どもが「また帰りたい」と思えるように、学びや仕事の場をつくり、
世代や地域をこえて交流できる仕組みを考えていきます。

子どもが戻りたいまち、多世代や多様な人がつながるまち



設問⑤ 上記のような軽井沢町を実現するためには、どのような仕組みや仕掛けが
必要でしょうか

○回答の抜粋

- ・自然環境保護。これが軽井沢町にとっての最大の資本。
- ・住民・企業業者・行政が、本音で話し合える対話の場。
- ・町として、生物多様性の保全、草原と森の両方の保全のために具体的に行動する。
- ・LINEなどSNSを使い、簡単に呼び掛けられ、その時の都合で気楽に参加できる集まりづくり。
- ・町としてどうなりたいのか、具体的かつ長期的な理念とビジョンの設定。
- ・開発条件や条例を分かりやすく明確にすること。
- ・住民が自分ごととなるような行政の広報、仕組みづくり、組織づくり。
- ・環境先進化の課題を検討する委員会やチームの設置。
- ・観光客へのマナー喚起や建築物のデザイン、高さなどの秩序（序列）を守る必要性。
- ・町にある資源を、町民に還元できるよう最大限に生かす。
- ・障害者施設、国際教育機関、外国人コミュニティなどと町民の交流事業。
- ・データに基づいたプラン、軽井沢ブランドの維持。

3. アンケート全体のまとめ

「自然を大切にしながら、地元の人、別荘の人、移住者、観光客など、さまざまな人が仲良く暮らせる軽井沢を守りたい」という共通の意見が多く、その実現に向けては、行政だけでなく住民や企業が一緒に話し合う“共創のまちづくり”、“環境を守る計画やルールづくり”、“対話や学びを通して意識づくり”が大切という声が寄せられました。